

## 自己評価報告書

平成 23 年 4 月 1 日現在

機関番号：16101

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2011

課題番号：20390544

研究課題名（和文）クリニカルパスを用いた精神科看護管理システムの開発・評価・改良

研究課題名（英文）Development, evaluation and improvement of the psychiatric nursing management system with the use of clinical pathway

## 研究代表者

谷岡 哲也（TANIOKA TETSUYA）

徳島大学・大学院ヘルスバイオサイエンス研究部・教授

研究者番号：90319997

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：看護学・基礎看護学

キーワード：アウトカム・マネジメント、クリニカルパス、看護管理、コンピュータ

## 1. 研究計画の概要

作成した各種クリニカルパス（急性期や退院支援のためのパスや地域連携パス、以下、パス）の患者アウトカムを、本研究で開発する看護管理支援システム<PSYCHOMS>で管理し、看護管理者の役割の一部を支援することができる考えた。

また、精神科においてこのような看護管理支援システムが完成すれば、質の高い精神科医療および看護、入院期間の短縮、社会的入院患者およびその家族の生活の質を高めることができるのかを分析する。

本研究は、クリニカルパスを用いた精神科看護管理支援システムを開発し、その臨床評価と改良を行うことが目的である。

## 2. 研究の進捗状況

平成 20 年度は、このシステムで必要とされる機能（以下、要求機能）の明確化、看護管理支援システムのデータベース（以下、DB）の必要項目の検討、及びプログラミングのための基本設計を行った。

平成 21 年度前半は、要求機能の明確化のための郵送調査を行った。これにより国内の精神科看護管理者が求めている要求機能を明確にした。また 21 年度前半までの研究成果に基づき看護管理支援システムのプロトタイプを作成した。そして研究協力病院において臨床試用を開始し、プログラムのバグの収集および修正を行うとともに、看護管理に必要な機能を探索した。

平成 22 年度は、平成 20 年度および 21 年度の研究成果に基づき看護管理支援システムの DB 及びプログラミングの基本設計を改良して基本システムである、①<PSYCHOMS>アセスメントマスタ登録処理及び看護計画処

理概要設計、②<PSYCHOMS>看護計画システム及び各種マスタ登録、③<PSYCHOMS>看護計画システム NANDA13 マスタ登録処理を計画し、プログラミングした。

加えて、本システムの中心となる<PSYCHOMS>クリニカルパスシステムの問題点を同定し、問題点を改善した①<PSYCHOMS>クリニカルパスマスタ登録処理及び計画処理概要設計、②<PSYCHOMS>クリニカルパスシステム及び各種マスタ登録、③<PSYCHOMS>クリニカルパスのためのアウトカム管理画面処理を計画し、プログラミングした。

## 3. 現在までの達成度

&lt;区分&gt;

②おおむね順調に進展している。

（理由）

研究は順調に進展し、看護管理支援システムを構成する各種システム（病棟管理システム、看護診断システム、クリニカルパスシステム）の開発は概ね完成している。現在は、臨床評価および改良の段階に入っている。

またこれまでの研究成果の一部は、国内外の学会で発表した。なお、原著論文については、現在英文の専門誌（CIN: Computers, Informatics, Nursing および Psychiatry and Clinical Neurosciences）に投稿中である。

## 4. 今後の研究の推進方策

既存の電子カルテシステムでは、看護者の視点でシステムが作られてないことが問題である。

開発中のシステムは、電子カルテではないが、看護者の視点で管理ができるシステム開発の必要性について、今後も研究継続したい。

また、研究成果については出来るだけ早く一般化していきたいと考えている。加えて、本研究成果は、著書として出版し、広く、研究成果を臨床の医療者に還元できるような研究にしたい。

## 5. 代表的な研究成果

[雑誌論文] (計5件)

- ① Miyoshi M, Tanioka T, Mishina K, Osaka K, et al.: What is the function necessary for the electronic nursing management system in psychiatric hospitals?, *Information*, 13 (3), 801-806, 2010, 査読有
- ② Tanioka T, Mishina K, Miyoshi M, Osaka K, et al.: Relation between Electronic Nursing Staffs' Daily Records and Nurses' Workload in the A Psychiatric Hospital, *Information*, 13 (3), 789-793, 2010年, 査読有
- ③ 谷岡哲也, 黒川奈美, 川村亜以, 大坂京子, 他, 認知症に伴う行動障害と精神症状(BPSD)の改善および家族支援に焦点をあてた認知症のためのクリニカルパスの検討, 老年精神医学雑誌, 21 (7), 781-788, 2010年, 査読有
- ④ Tanioka T, Kataoka M, Yasuhara Y, Miyagawa M, et al.: The role of nurse administrators and managers in quality psychiatric care, *The Journal of Medical Investigation*, 58, (1, 2), 1-10, 2010年, 査読有
- ⑤ Matsumoto K, Tanioka T, Osaka K, Kawamura A, et al.: Developing the Method of Server Controlled Outcomes Management and Variance Analysis, *Electronic Notes IN Theoretical Computer Science*, Vol. 225, 221-237, 2009年, 査読有

[学会発表] (計5件)

- ① Tanioka T, Date M, Sekido K, Yasuhara Y, et al.: Psychoms as a comprehensive electronic nursing management system, 14<sup>th</sup> East Asian Forum of Nursing Scholars, 2011, 2, 12, Seoul
- ② Tanioka T, Kawamura A, Date M, Osaka K, et al.: Computerized electric nursing staffs' daily records system in the "A" psychiatric hospital; present situation and future prospects, *The 6<sup>th</sup> international conference on natural language processing and knowledge engineering*, 2010, 8, 23, Beijing.
- ③ Date M, Tanioka T, Yasuhara Y,

Matumoto K, et al.: The present condition, problems and future direction of the server-controlled clinical pathway development in psychiatric hospital, *The 6<sup>th</sup> international conference on natural language processing and knowledge engineering*, 2010, 8, 23, Beijing.

- ④ 廣田多門, 谷岡哲也, 川田知子, 直井秀子, 他, 看護管理日誌のシステム化に向けて: 業務量調査に基づく分析結果, 第37回日本精神科病院協会精神医学会, 2009, 11, 12, 高松
- ⑤ 村岡大志, 谷岡哲也, 片岡三佳, 井手敬昭, 他, 岐阜県下における精神科病院での訪問看護の実施状況からみた課題, 第40回日本看護学会精神看護, 2009, 7, 24, 島根